

## 第3学年 国語科学習指導案

日 時：令和5年 11月22日（水）公開授業Ⅰ  
対象児童：滝沢市立滝沢小学校3年2組 30名  
授 業 者：大谷 優奈

### 1 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読もう

教材名 すがたをかえる大豆 （光村図書 3年下）

### 2 単元の目標

- (1) 比較や分類の仕方、辞書の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
- (2) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C(1)ア
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 「学びに向かう力、人間性等」

### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまで、3年上巻「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」で、「初め・中・終わり」といったまとまりや、「中」の事例の述べ方に注意して読むことを学んでいる。本単元では更に、事例の選び方やその順序性に着目して読むことを目指していきたいと考える。

5月に行った知能検査によると、本学級児童は説明を聞いたり文章を読んだりする力が高く、言葉を媒介にした学習が得意である。しかし、文章や問題を読み込まずに素早く答えを出す傾向にあるため、丁寧に読み進めることを指導していきたい。

国語の授業の中での対話については、自分の考えと友達の考えを比較し、質問し合うことで自分の考えを深める活動を行ってきた。しかし、自分の考えに自信をもつことができず、友達同士での交流に消極的な児童もいる。そこで、本単元では、対話の観点を明確にし、活発に意見交流ができるようにしていく。

#### (2) 教材について

本教材は、「初め・中・終わり」の三つの大きなまとまりで構成され、「初め」で提示された話題について、五つの事例を用いて説明し、「終わり」で筆者の意見を説明した文章である。そのため、各段落の中心となる語や文を見付けたり、段落相互の関係に着目しながら、筆者の説明の工夫を見付けたりすることに適している。

大豆をおいしく食べるための工夫の説明を、「いちばん」「次に」「また」「さらに」などの語に着目して読み取ることで、事例が提示される順番の工夫を見付けさせたい。また、筆者の考えにはどのような理由があるのかなど、段落のつながりを意識して読み取ることで、文章構成の工夫を見付けさせたい。

#### (3) 指導について

本単元の指導にあたっては、まず第1時において大豆の加工食品の実物や写真などを提示し、大豆の姿の変化についてイメージをもたせる。そして、「食べ物のひみつブック」を提示し、次単元で扱う「食べ物のひみつを教えます」では、書き手として食べ物について説明する文章を書くことを意識させ、学習の見通しと意欲をもたせたい。

第2時から第7時では、それぞれの段落で中心となる文や接続語に基づいて、説明内容や筆者の説明の仕方の工夫を読み取っていく。そのために、既習の「こまを楽しむ」の学習を想起させ、「問い」の「答え」になる部分が各段落の中心になることを確認する。

次単元では、文章の組み立てや事例の書き方などを基に、選んだ食材について、事例を挙げながら文章を書いていく。そのために、「分かりやすい説明の仕方」について本単元の学習を想起させ、書き方を具体的に考えることができるようにしたい。

I C Tについては、教科書本文を電子黒板で提示し、サイドラインを全体で確認する際に活用する。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比較や分類のしかた，辞書の使い方を理解し使っている。 (2)ア	「読むこと」において，段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述を基に捉えている。 C(1)ア	説明される内容とそれを支える事例との関係に着目し，叙述を基に捉え，文章の説明の工夫について積極的に伝えようとしている。

#### 5 単元計画（6時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すがたをかえる大豆」を読み，大体的内容を捉える。</li> <li>学習課題を設定し，学習計画を立てる。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落分けを確かめながら文章全体の組み立てを捉える。</li> <li>「中」で挙げられている事例を整理する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思(行動観察)</li> <li>(ノート分析)</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆に手を加えるときの言葉を調べて意味を確かめる。</li> <li>文章の説明内容にあった「問い」を考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思(行動観察)</li> <li>(シート分析)</li> </ul>	
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの段落で中心となる文や接続語に注目して，「中」の書かれ方について考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○思(行動観察)</li> <li>(シート分析)</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまでの学習を踏まえ，筆者の説明の仕方の工夫をまとめる。</li> </ul>	○知(シート分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>思(行動観察)</li> <li>(シート分析))</li> </ul>	○態(行動観察)
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまでの学習を振り返る。</li> <li>次単元の学習の見通しをもつ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>思(行動観察)</li> <li>(シート分析)</li> </ul>	

6 本時の指導（4時間目/全6時間）

- (1) 目標  
「中」の各段落の大事な文を捉え、筆者の例の書き方の工夫について考えることができる。
- (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考判断表現	「中」の各段落の大事な文を捉え、筆者の例の書き方の工夫について考えることができる。	「くふう」という言葉をキーワードにして、大事な文を見付けられるようにする。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価
導入 5分	1 前時想起	<ul style="list-style-type: none"> <li>「初め」「中」「終わり」の文章構成と、前時に考えた「問い」を確認する。</li> <li>筆者の説明の工夫を、次単元の「食べ物のひみつを教えます」の学習で使うことを意識させる。</li> </ul>
	2 課題把握	
展開 35分	3 解決の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の流れを確認し、学習の見通しをもたせる。</li> </ul>
	4 課題解決 (1)学習場面を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落の中心となる文がどこにあるのか意識しながら読ませる。</li> </ul>
	(2)全体で、第3段落の文章構成を読み取る。 ・中心となる文 ・作り方 ・食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>□中心となる文に鉛筆でサイドラインを引かせ、全体で確認する。</li> <li>□一文目に中心となる文があり、その次に作り方と食品が書いてあることを確認する。</li> <li>●電子黒板で、自力解決の仕方を確認する。</li> </ul>
	(3)各自、第4～7段落の文章構成を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「くふう」という言葉をキーワードとして、中心となる文を見付けるよう助言する。</li> <li>●中心となる文を捉えている。(サイドライン)</li> </ul>
	(4)全体で段落ごとの「中心となる文」「キーワード」を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子黒板を活用するとともに、板書で視覚的に位置付ける。</li> </ul>
(5)筆者の例の書き方の工夫を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇段落の文章構成の共通点について、ペアで交流させる。</li> <li>◇文章構成の共通点を基に、筆者の書き方の工夫を考えさせる。</li> <li>◇その書き方によって、どのような分かりやすさがあるかを話し合いながら確認する。</li> </ul>	
5 学習のまとめ (1)本時の学習で学んだ、書き方の工夫をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体で話し合ったことを基に、筆者の書き方の工夫をまとめられるようにする。</li> <li>●筆者の例の書き方の工夫について考えている。(ワークシート)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の初めに、大事な文が書いてある。</li> <li>・次に、作り方と食品が書かれている。</li> <li>・どの段落も同じ書き方になっている。</li> </ul>

終末 5分	6 振り返り	・本時で学習したこと，次の学習に生かすことなどについて振り返らせる。
	7 次時予告	・「中」の部分の段落(例)の並び方の工夫について考えていくことを確認し，意欲をもたせる。

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふり 返り</div> 今日学習したこと	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>学習③せつめいの書き方を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんらくのはじめに大事な文が書いてある。</li> <li>・次に、作り方と食品が書いてある。</li> <li>・どのだんらくも、同じ書き方になっている。</li> </ul> <p>↓書き方のよさが、文章の読みやすさにつながっている。</p> </div>	七段落	六段落	五段落	四段落	学習①③をみんなで 学習②④⑦をみんなで	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">         すがたをかえる大豆 国分 牧衛           ④「中」をくわしく読んで、せつめいの書き方を考えよう。       </div>
--	--	-----	-----	-----	-----	-------------------------	---